

2021年12月28日

各位

会社名 株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

お客さま情報を誤って提供したことについてのお詫びとご説明

当行は、マネックス証券株式会社との間で、金融商品仲介業務における包括的業務提携をしており、2022年1月4日を効力発生日とする吸収分割契約に基づき、当行の投資信託保護預り口座等に関する権利義務を、マネックス証券に承継することを予定しております。

今般、吸収分割に向けた準備作業として、マネックス証券に承継する投資信託保護預り口座(以下、「承継対象口座」)に係るデータ移行に伴い、各口座に紐づく個人番号を含む個人のお客さま情報及び法人のお客さま情報を暗号化のうえ、マネックス証券に12月9日に送付しました。その際に、承継対象口座以外の口座(計1,469件)に係るお客さま情報が誤って含まれていたことが、マネックス証券の指摘により、12月22日に判明しました。

現在、誤って送付したお客さま情報については、マネックス証券において全て削除が完了しており、その他の第三者に流出していないことも確認しております。このため、本件に起因してお客さまに被害が生じる可能性は極めて小さいものと考えております。関係者の皆さまには、多大なご迷惑とご心配をお掛けすることとなり、深くお詫び申し上げます。今回の事態を踏まえて、情報管理体制の強化と再発防止に取り組んでまいります。

1. 誤って送付した個人情報の件数・項目

- 件数 1,467件
- 項目
 - 個人番号
 - 氏名
 - 生年月日
 - 口座番号

2. 誤って送付した法人情報の件数・項目

- 件数 2件
- 項目
 - 法人番号
 - 法人名
 - 口座番号

3. 本事案に関するお客さまへの対応

対象となったお客さまには、個別に電子メール、書面、電話によるご連絡を予定しております。

また、お客さまからのお問い合わせ窓口も設置しております。

お客さまお問い合わせ窓口	移管に関するお問い合わせ専用 電話番号：0120-456-430 受付時間：平日9時から17時 ※12/31～1/3を除く マネックス証券との業務提携に関するご質問・手続き専用 Web ご相談フォーム (shinseibank.com) (24時間受付) ※12/31～1/3の期間にいただいたご相談は、1/4より順次ご対応させていただきます。
--------------	--

4. 発生原因

承継対象口座に係るデータを抽出してマネックス証券に提供する際、当行におけるデータの抽出作業に不備があり、承継対象口座以外の口座に係る個人番号を含む個人および法人のお客さま情報が混入したデータを、マネックス証券に送付してしまったものです。本件発生原因は当行の作業の不備にあり、マネックス証券での作業に問題はございません。

せん。

5. 再発防止策

今後、データの抽出作業に際しては、対象データの事前検証をより厳格に行い、移行対象を正確に特定のうえ適切な抽出方法で実施いたします。また、データ抽出後のデータ精査にあたっては、当該抽出データと承継対象となるデータの全件突合を行い、承継対象外データが含まれていないことを確認のうえ、データ移行を実施いたします。

以上



お問い合わせ先
新生銀行 グループIR・広報部

報道機関のみなさま: Shinsei_PR@shinseibank.com
株主・投資家のみなさま: Shinsei_IR@shinseibank.com